

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【公表番号】特表2015-520090(P2015-520090A)

【公表日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-045

【出願番号】特願2015-513282(P2015-513282)

【国際特許分類】

B 6 5 F 1/06 (2006.01)

B 0 9 B 5/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 F 1/06 A

B 0 9 B 5/00 Z A B Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月11日(2016.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

廃棄物を密封するための廃棄物処理装置であって、

第 1 および第 2 のローラを備え、

前記第 1 および第 2 のローラの各々は、第 1 および第 2 の端部と、該第 1 および第 2 の端部の間の接続部とを備え、

前記第 1 のローラの端部および前記第 2 のローラの端部は、該第 1 および第 2 のローラが回転するときに該端部の間に受け入れて第 1 および第 2 の別個のフィルム部分の端部に沿って封止するように構成され、

前記第 1 のローラの接続部および前記第 2 のローラの接続部は、該第 1 および第 2 のローラが第 1 の回転形態にあるときに廃棄物を受け入れるための開口を定め、該第 1 および第 2 のローラが第 2 の回転形態にあるときに該接続部の間で前記第 1 および第 2 のフィルム部分を封止するように構成され、

前記第 1 のローラの第 1 の端部および前記第 2 のローラの第 1 の端部は、前記第 1 および第 2 のローラが回転する間ずっと互いに接触し、前記第 1 および第 2 のフィルム部分の各々の第 1 の端部に沿って封止を形成し、および / または、前記第 1 のローラの第 2 の端部および前記第 2 のローラの第 2 の端部は、前記第 1 および第 2 のローラが回転する間ずっと互いに接触し、前記第 1 および第 2 のフィルム部分の各々の第 2 の端部に沿って封止を形成し、

前記第 2 の回転形態にあるときに、前記第 1 のローラの接続部および前記第 2 のローラの接続部は互いに接触し、前記第 1 および第 2 のフィルム部分の各々の第 1 および第 2 の端部の間に細長い封止を形成する廃棄物処理装置。

【請求項 2】

前記第 1 および第 2 のローラの前記端部は、実質的に円柱形である請求項 1 に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 3】

前記第 1 および第 2 のローラの各々の前記接続部は、該第 1 および第 2 のローラの各々の中心軸からずれている請求項 1 または 2 に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 4】

前記第 1 および第 2 のローラの各々の前記接続部は、断面において実質的に円形の扇形を形成し、前記第 1 および第 2 のローラの各々の前記接続部によって実質的に形成された前記円形の扇形は、90°より小さい中心角を有する請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 5】

前記第 1 および第 2 のローラのうちの少なくとも一方のローラの少なくとも端部は、第 1 および第 2 のフィルム部分の間に液体を捕らえるためのくぼみを備える請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 6】

前記第 1 および第 2 のローラのうちの少なくとも一方のローラの前記接続部は、第 1 および第 2 のフィルム部分の間に液体を捕らえるための複数のくぼみを前記第 1 および第 2 のローラの幅方向に備える請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 7】

前記接続部は、前記ローラの 360°の回転につき 1 回、前記第 1 および第 2 のフィルム部分を封止する請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 8】

少なくとも一方のフィルム部分は、その表面に接着剤を備える請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 9】

前記第 1 および第 2 のフィルム部分を送り出すためのカセットを受け入れるように構成される請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 10】

前記第 2 のローラは、封止力を与えるために前記第 1 のローラに向かって付勢される請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 11】

前記第 2 のローラの回転は、前記第 1 のローラの回転によって駆動される請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 12】

廃棄物を蓄えるための容器をさらに備える請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 13】

前記第 1 および第 2 のローラの間で廃棄物を案内するためのガイドをさらに備える請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 14】

前記ローラとカセットとを収容するための上部をさらに備え、前記上部は前記カセットを支持するための突出部を備え、前記突出部は棚であり、

前記カセットは、第 1 のコンパクトな状態と第 2 の広がった状態との間で可動であり、前記上部の前記突出部は、前記カセットの第 1 のコンパクトな状態から第 2 の広がった状態への移行を可能にするように配置される請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 15】

前記上部は、前記カセットを受け入れるための開口を備え、前記カセットは、第 1 のコンパクトな状態と第 2 の広がった状態との間で可動であり、前記上部の前記開口は、前記第 1 のコンパクトな状態にあるカセットを通過させることが可能な寸法である請求項 1 から 14 に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 16】

前記カセットは、第 1 のコンパクトな状態と第 2 の広がった状態との間で可動であり、前記上部は、前記第 2 の広がった状態にあるカセットを収容するための前記開口に隣接したカセット収容空間を備える請求項 1 から 15 に記載の廃棄物処理装置。

【請求項 17】

内部に収容されるカセットを有する請求項 1 から 16 のいずれか一項に記載の廃棄物処理装置。